

令和元年8月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和元年8月20日 (火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時36分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	藤原佳代子	
	委員	石井希典	
	委員	妹尾直人	
	委員	片山美香	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	石井雅裕	教育次長	岡林敏隆
次長(教育総務部長兼務)	赤野政治	学校教育部長	奥橋健介
生涯学習部長	重松浩二郎	教育企画総務課長	小林芳由
教育企画総務課企画調整担当課長	高坂仁美	教職員課長	島田和男
指導課長	松岡和俊	指導課教育支援担当課長	渡邊裕一
文化財課長	草原孝典	オリエント美術館長	八田健郎
岡山っ子育成局子育て支援部 地域子育て支援課長補佐	黒瀬格	指導課指導副主査	森祐子
事務局(教育企画総務課課長補佐)	澤谷好太郎	事務局(教育企画総務課副主査)	三宅敦子
5 議題及び結果			
第19号議案	平成30年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について	原案可決	
第20号議案	岡山市指定文化財の指定解除について	原案可決	
6 教育長等の報告 [令和元年7月13日(土)～令和元年8月9日(金)]			
7/28	岡山市子ども会親善球技大会	地域子育て支援課	
7/29	人権問題研修講座②	指導課	
7/29	ジュニア・オリエント教室「ぼくのわたしの守り神を作ろう！」	オリエント美術館	
8/1	おかやまっこ未来フェスタ	指導課	
8/1	第4回しゃべりんぴっく	指導課	

8/ 2	人権問題研修講座③	指導課
8/ 3～5	わくわく犬島探検隊	地域子育て支援課
8/ 6	就学・教育相談会	指導課
8/ 7	市学童水泳記録会	保健体育課
8/ 8・9	就学・教育相談	指導課
石井委員	○ 夏休みも含めてたくさんのイベントや大会等があったので、どれも興味はあるが、4番のおかやまっこ未来フェスタの内容と、実施した感触を教えてください。お願いします。	
指導課長	○ 8月1日にイオンモール岡山の未来スクエアで開催している。例えばステージイベント、学習体験コーナー、プログラミング、それからパネル展示での紹介等を行った。昨年度、プログラミングに来たお客さんを待たせたというような課題があったので、今年はプログラミングについてはたくさんの人数で対応した。それから、ちょっとお客さんが引かれたりということがあったので、全体的に盛り上がるようにサイエンスショーを2回に分けたり、いろんな工夫をして今年取り組んだ結果、一日中バランスよくお客さんが来場された。去年あった、走ってチケットをとりにくるような課題も今年は解消されて、子どもたちも本当に楽しんでくれた。お母さん方もたくさん来てくださって、岡山市の学校や子どもたちが頑張っている様子についてしっかりPRできたというふうに考えているところである。	
教育長	○ 岡山市のそういう工夫をより、子どもたちも含めて、一般の周囲の方も含めて理解していただくとか、前向きな取組について、そういうふうに思っていたかというのとはすごく価値があることだと思う。準備等、サイエンスショー等も含めて大変だと思うが、そういう理解をしていただく取組をまたいろんな形で広げていっていただきたい。	
藤原委員	○ 今、指導課長がサイエンスショーと言われたが、これは指導主事の方がするのか。それとも、外の講師か。	
指導課長	○ 今年度は、予算がとれていた関係もあって、岡山市の学校を退職された方で人と科学の未来館サイピアにお勤めの方に、有料をお願いをしてサイエンスショーをしていただいた。	
藤原委員	○ 内田先生か。	
指導課長	○ 内田先生である。	
藤原委員	○ 今、考える力とか科学とか、理科系のことが求められていて、必要性もあるし、関心もある。色々な大学が理科的な教室を4、5回開催したら、あっという間に定員になり募集が終わるようである。本当にあっという間だから行きたい人が行けない。それぐらい関心があるわけだから、こういう場で本格的な先生をお願いしてするとおもしろいだろうなと思ってお聞きした。	
教育長	○ 私の印象に残ったのは、一宮高校の生徒さん等のボランティアである。そのボランティアのことについて説明を。	
指導課長	○ 今年度、桑田中学校の生徒からボランティアの申し出があり20人、岡山大学からも学生3人が参加した。それから、一宮高校の生徒が20人、プログラミング教室をやってくれた。これはちょっと縁があって、実はその次の日に同じようなプログラミングの授業を一宮高校でやるので、それを小・中学校に紹介してくれないかという申し出があり、前日に、うちもこんなことをやると紹介したら、一宮高校の生徒を参加させるので、ぜひ一緒にやりましょうと言ってくださった。いいコラボレーションになり、子どもたちもお兄ちゃん、お姉ちゃんに教えてもらってとても喜んだという状況があった。いい影響があったと考えている。	
教育長	○ もう一つ、この秋にあるG20の紹介のブースもあった。そこにはG20の事務局からも来てくださった。折り紙を持って行くというのもあり、そ	

藤原委員	<p>の紹介も兼ねた、タイムリーなイベントができたと思う。</p> <p>○ 2番目と6番目の人権問題の研修会であるが、これは、今テーマはどういうテーマが取り上げられているのか。</p>
指導課指導副主査	<p>○ それぞれ説明を簡単にさせていただく。まず、人権問題研修講座の②については、テーマはハンセン病と人権ということで実施をした。</p> <p>講師は、漫画家の古林海月先生という方をお招きしている。この方は、岡山県にあるハンセン病療養所を舞台にした漫画、「麦ばあの島」という本を執筆された方で、その執筆に当たってかかわったハンセン病の方について、気づきのことについて講演いただいた。</p> <p>もう一つの人権問題研修講座の③については、テーマは外国人と人権ということで実施をさせていただいた。</p> <p>講師は、コラムニストのサンドラ・ヘフェリンさんという方で、日本人とドイツのハーフの方で、日本社会の多様性についていろいろハーフとして気づかれたことについて実体験をもとにご講演をいただいた。</p> <p>簡単であるが以上である。</p>
藤原委員	<p>○ 人権は幅広く、さらに新しい課題も増えるので、そのようにテーマをいろいろ広げてほしいと思う。今日の新聞に出ていた、性に関する人権に関してはもう扱われたのか。</p>
指導課指導副主査	<p>○ ちょうど昨日、同じく人権問題研修講座の最後にあたる講座として、性の多様性を上げた講演会を実施した。プラウド岡山さん、当事者団体から講師をお招きして、性の多様性について考え等々をご指摘いただいた。</p>
藤原委員	<p>○ その内容は来月の事業報告に出るのか。</p>
指導課指導副主査	<p>○ そうである。</p>
藤原委員	<p>○ なぜお聞きしたかという、パーセンテージ的にかなりあるのがわかってきたことと、今回岡大の先生がそれに関してCDか手引きを無料配付するというのが1カ月ぐらい前に出ていたので、ぜひ片山委員を通じていただきたらと思ったので。着払いで送ってくれるそうだ。そのように広く関心を持たれていることである。この研修講座はPTAの方が対象である。PTAが変わると、子どもが変わる。先生方が一番に変わらないといけないと思うが、やはり家庭が変わるのが急がれると思う。</p> <p>呼称について今日新聞に出ていたのは、性のいろんなことがあるから、すぐに息子さんはとか、娘さんはとか、ご兄弟はとか、ご主人はとか言わないようにしようという記事があった。依然として学校で今でも、ご父兄はという言い方をしている。だから、これは研修会などをとおしてPTAの方に、保護者という言い方が適当であると言いつけないと、いつまでたっても父兄という言葉が残るのではないかという気がした。PTA対象の研修会で言うてくださるとありがたいなと思ったのでお聞きした。</p>
教育長	<p>○ そのほかないか。</p>
片山委員	<p>○ 8番、10番、11番に就学・教育相談会が開催された旨、書かれているが、どういったご質問、ご相談が多いのかということと、例年との何か違いがあれば教えていただければと思う。</p>
指導課教育支援担当課長	<p>○ この会については、各学校から就学相談を受ける先生方に来ていただいて個別の対応をさせていただくという会である。保護者、子どもなどが個別のブースへ来ていただいて、そこに相談の先生が入って個別の相談に乗るという形で行っている。</p> <p>質問内容としては、どのような学校で支援が受けられるのかとか、特別支援学級とはどういうふうな勉強をするのかとか、そういうふうなことが主な内容と聞いている。</p>
片山委員	<p>○ それに関連して、その個別のブースとは、学区ごとのブースと理解したらいいのか。</p>
指導課教育支援担当	<p>○ これはランダムであるが、その地域によってその担当する先生が必ずし</p>

<p>当課長 片山委員</p>	<p>も来るということではなくて、一般的な就学に関する話をする感じである。</p> <p>○ この広報というか、相談会があるというのは、全て学校の先生をとおして紹介されるというケースが多いのか。</p>
<p>指導課教育支援担当課長 片山委員</p>	<p>○ 広報については、市民のひろば、それから岡山市のホームページのほうに載せて広く市民から見えるようにしている。</p> <p>○ では、その広報を通じてみえる方も結構いらっしゃるという理解でいいのか。</p>
<p>指導課教育支援担当課長 石井委員 地域子育て支援課課長補佐</p>	<p>○ そういう方もいらっしゃるし、それから園をとおしてこういう会があるというのも伝えていただいている。</p> <p>○ 1番の子ども会親善球技大会の実施状況について教えていただきたい。</p> <p>○ これは毎年、子ども会の主催の中央球技大会ということで行っている。例年、ソフトボールチーム、ポートボールチームが予選を勝ち抜いて県の環境保健センターグラウンドにて行っている。</p>
<p>石井委員</p>	<p>近年の高温に伴い、熱中症対策等、体調不良の面でのことが心配されるが、WBGT（湿球黒球温度）の熱中症の危険度をはかるようなものを購入したりして、健康管理も各チーム徹底的に呼びかけたり、健康観察をしたりして安全に行っているところである。</p> <p>○ ゴルフの渋野選手もソフトボールをやっていたということなので、もしかしたらこの大会とかに出て、当時力を蓄えていたのかなと想像するのだが、これはソフトボールがメインで、それ以外の球技というのは特になのか。</p>
<p>地域子育て支援課課長補佐</p>	<p>○ これは子ども会で取り組んでいる球技大会の種目であり、ソフトボールとポートボールを外で同じ場所でやっている。スポーツ少年団とはまた別のルール等が設けてあるなど、別の団体のような形になっている。</p>
<p>教育長 石井委員</p>	<p>○ 男子が大体ソフトボール、女子がポートボールである。ただ、男子だけではソフトボールのチームをつくれなくて、女の子が大分活躍していた。</p> <p>○ 学校の規模が小さくなってきたりして、野球とかソフトボールがやりにくくなっているというような話もたまに聞いたりするのだが、そういう影響というのはどういう状況なのか。</p>
<p>地域子育て支援課課長補佐 石井委員</p>	<p>○ 子ども会自体の加入数も減少傾向であるし、またチームというのも人数がだんだん減少の傾向にはあるというふうに聞いている。スポーツ少年団と子ども会と両方の球技大会に、ソフトボールのチームについては参加できないような今までの経緯があったりするが、そういうところの交流等も広い視野で必要になってくるかなというようなことを子ども会の会長さんはおっしゃっていた。</p> <p>○ いろいろな経緯もあると思うが、子どもたちにとって一番いい状況というのができればいいというところと、スポーツとして、非常に少ない人数でもできるようなスポーツというののももしかしたら広がっていく必要があるとも感じた。以上である。</p>
<p>教育長 全委員</p>	<p>○ よろしいか。</p> <p>○ 〈なし〉</p>

7 議事の概要

<p>教育長</p>	<p>○ ただいまから8月の岡山市教育委員会定例会を開催したいと思う。傍聴希望者はおられない。</p> <p>まず日程第1であるが、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 本日1日限りとする。</p> <p>議事録については、間に合っていないので、また来月ということでもよろしく願います。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 議事に入る前に、会議の公開、非公開についてお諮りをする。</p>

<p>全委員 教育長</p> <p>教育企画総務課企 画調整担当課長</p>	<p>日程第4の報告第30号、これは教育事務に関する議会の議案等についての市長への意見の申し出に関する事項として会議規則第7条第1項第3号に該当するため、非公開としたいと思うが、いかがか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 日程第4の報告第30号は非公開と決定する。</p> <p>初めに日程第5、第19号議案、これは岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書についてであるが、教育企画総務課から説明をお願いする。</p> <p>○ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、平成30年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書を議会に提出し公表するに当たり、教育委員会の議決を経ようとするものである。</p> <p>内容については、5月から8月初めの協議会でも協議いただいているが、今回は最終のご審議をしていただき、議決をいただきたいというふうに考えている。</p> <p>前回いただいたご意見をもとに、いくつか加筆、修正を加えているのでご紹介させていただく。</p> <p>冊子の31ページをごらんいただきたい。</p> <p>上部に白丸が4つ続いているが、31ページの上から2つ目の白丸のところである。</p> <p>前回、委員から指摘で、国際感覚の育成への取組において「英語圏だけではなく」などの文言を入れたほうがよいのではとご助言をいただいた。指導課を中心に事務局内で検討しましたところ、ここでは新学習指導要領への英語科への対応を主で書いている部分もあると。この文意が弱くなってしまうことを防ぐためにも、下から2行目のところの異文化という文言に、英語圏だけでなく、国際感覚の育成への取組、その意味を含めたいということで、この文言については、異文化というキーワードをもとにそのご意見をいただいた意味を含めたいと考えている。</p> <p>従って、ここでは修正点は結果的にお示ししていない。</p> <p>2点目であるが、同じ31ページの下から2つ目の教職員の働き方改革への取組のところである。</p> <p>働き方改革は何のためなのかを具体的に入れたほうがよいのではというご指摘をいただいた。例えば教育活動を充実させるためになどを入れてはどうかと具体的にご意見をいただいた。これについては、主の文に入れてしまうという意見も事務局内ではあったが、この項目については、働き方改革が教職員の負担軽減が主であるということも含めて両論あることから、どちらかの意味が弱まってしまつては誤解を招くものというふうに考えて、文末に、「働き方改革は、教育の充実にもつながると考えています。」という一文を追加させていただいている。</p> <p>前回を受けて、加筆、修正した部分は以上である。これは、先ほど申したが、9月の議会に提出し、その後、ホームページにも公開する。そして、市立学校・園長へも周知をかけたいというふうに考えている。ご審議のほど、よろしく願います。</p>
<p>教育長</p> <p>藤原委員</p>	<p>○ それでは、これまでも何度も話し合いをしてきたが、新たにご質問やご意見があれば願います。</p> <p>○ 今の修正と考えでいいと思う。②の国際感覚のところは、確かに学習指導要領、英語科が教科化されているのは当然のことであるが、前回の委員会ときに確か二階堂先生が言われていたように、アジア圏の人たちも非常に多いわけであるから、国際感覚と書いてある限りは、やはり英語圏だけではないというのを頭に入れた施策をしていかなければ、単なる英語科だけのニーズになるとマイナスかなと思う。表現とすればこれでいいと思う。</p> <p>それから、働き方改革も、今ブラックだと言われている学校現場を何とかしようというところから始まっていることは当然なので。ただ、その前に保</p>

<p>石井委員</p>	<p>護者の協力というところがある。終わりから2段目のところに、働き方改革のパンフレットを配布することで取組の理解と協力を求めるなどというのは、これはセットとして教育の充実につながると伝えるのが絶対に必要。文末にこの一文が入ることでバランスがとれたと思う。</p> <p>○ 改めて確認であるが、30ページに今後の方向性、最初に「学力の向上」と「問題行動等の防止及び解決」への取組と言われているということを考えると、5か年計画、次の4年目である32年度もクローズアップとしては、この2つが上がってくるという位置づけとここで方向づけられたという認識でよろしいか。</p>
<p>教育企画総務課企画調整担当課長</p>	<p>○ 来年度の重点部分、いわゆるクローズアップの部分については、今原案を作成しているところであって、予算要求を始める前の10月ごろには決定をしたいと考えている。</p> <p>その中で、30年度への点検・評価ではあるが、来年度、令和2年度の重点に大きく影響するものとして、ここに書いてあるように、問題行動、それから学力向上は外すことができないというような意味合いはこのとおり強くなってきている。まだ確定ではないが、お見込みのとおりであると考えている。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ それに加えて、そこに上げられている課題を改めて拝見すると、情報活用能力向上への取組だとか、国際化、英語の授業が入ってきたり、道徳の授業が入ってきたりというのがこの5年間の当初の計画を立てたときと比べて、状況がどんどん変わってきていることに、しっかり対応しようという意図を感じる。働き方改革もそうだと思うが、5か年計画のその当初予想できない状況への変化というものに対応する必要を改めて感じた。</p> <p>あとは、他局と連携した取組については、教育委員会として他局から協力を求められることも多々あると思うが、逆もあるのではないかと思う。ここに記載されることではないと思うが、岡山市はほかの市とどうしても比べられる。いろいろな、教育以外のところでも比べられて、岡山市の人口が今後増えていくのかとか、そういうことに教育も一つの重要な要素としてあると思うので、そういう意味でほかの部局にもいい影響になる取組を、教育だけに閉じないで、広くすすめていただきたい。改めてよろしく願います。</p>
<p>教育企画総務課企画調整担当課長 藤原委員 教育企画総務課企画調整担当課長 藤原委員 教育企画総務課企画調整担当課長 藤原委員 教育企画総務課企画調整担当課長 藤原委員</p>	<p>○ 今の2点、承知した。</p> <p>○ 教育大綱の最後の目標値のまとめはいつか。</p> <p>○ 来年度が最後の年になる。そのため来年度の学力調査の結果が最終の数値になる。</p> <p>○ その内容と点検・評価はリンクしないのか。</p> <p>○ 学力の向上に向けた事務事業の取組の指標があるが、これは完全につながっている。数字でもつながっているし、共通したものになっている。</p> <p>○ それは、学力と問題行動だけであるか。</p> <p>○ 教育大綱で切り取っているのはその2つだけである。</p> <p>○ 来年度がその年になるとしたら、その次の年、先ほど石井委員が言われたような広がりがあるようなテーマや目標値になるか。現在の教育大綱はぎゅっとコンパクトにしたので、次はもう少し広げるといえるのか、市長がいるからできるような、ダイナミックなことを取り入れてほしいと思う。</p>
<p>教育企画総務課企画調整担当課長 藤原委員 教育長 全委員</p>	<p>○ 次期の教育大綱についてはこれから1年半ほどかけて提案をするということになっている。</p> <p>○ 学力と問題行動は避けられないテーマであり、それを切り取ったのはある意味それが正解だったと思うが、いつまでもというわけにはいかない。</p> <p>○ そのほかあるか。</p> <p>○ 〈なし〉</p>

教育長	○ 教育大綱も、学力は来年度の全国調査が指標の数字になるし、それから問題行動も実は、今年度の調査の子どもたちの報告が来年度の数字になる。今年度の取組、令和元年度の取組が全部来年、教育大綱の数字に反映されていく。これがもう最終地点である。
藤原委員	○ その問題行動の前年度の結果は学力向上の結果よりも後だと思う。これは割と出るのが遅い。そのため、本当に次の年度にかかるぐらいのときに数字が出るので、それをどう反映させるかというのは、タイミングが結構難しいのかなという気はする。学力のほうは多分この時期にはもう出ているので決めやすいかと思う。タイムラグが大きいようであれば、今年度のものを使うのは難しいのではという気もするが、学力と同じ年度のほうがわかりやすい。
教育長 全委員 教育長	○ それでは、この第19号議案、原案どおり可決してよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ では、原案どおり可決する。
文化財課長	○ 続いて、日程第5の第20号議案、岡山市指定文化財の指定解除について、文化財課から願います。 ○ 岡山市指定文化財の指定解除についてである。岡山市文化財保護条例第5条第1項の規定により、岡山市指定文化財の指定を解除することを議案として提案するものである。 提案理由としては、岡山市指定天然記念物「多自枯鴨神社の大杉」が枯れたことに伴い、岡山市文化財保護条例第10条の規定により、岡山市文化財保護審議会に諮問を行った結果、同審議会の会長から指定解除が適当との答申があったので、下記により指定を解除しようとするものである。 指定解除物件、杉。名称、多自枯鴨神社の大杉。種類、天然記念物。員数、1株。指定年月日、平成22年7月27日。指定書の番号、天然記念物第11号。指定時における所在地、岡山市北区建部町田地子539である。ご審議のほど、よろしく願います。
教育長 藤原委員	○ 何かご質問、ご意見はないか。 ○ これは致し方ないと思う。ただ、9ページの状況写真についての表記「死状況」こういう言い方をするのか。
文化財課長	○ 死んでいる状況というか、基本的には枯れて死んでいるということである。
藤原委員 文化財課長 藤原委員	○ 枯れるとかというのではなくて、死というのか。 ○ そうである。 ○ わかった。
教育長 全委員 教育長	○ では、指定文化財の指定解除について、原案どおり可決してよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ 原案どおり可決する。
	○ それでは、次に非公開に移るので、関係者以外の方は退席をお願いする。

傍聴の状況		
報	道	0名
一	般	0名

令和元年8月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	令和元年8月20日（火）		
2 開会及び閉会	開会	14時37分	
	閉会	14時44分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	藤原佳代子	
	委員	石井希典	
	委員	妹尾直人	
	委員	片山美香	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	石井雅裕	教育次長	岡林敏隆
次長（教育総務部長兼務）	赤野政治	学校教育部長	奥橋健介
生涯学習部長	重松浩二郎	教育企画総務課長	小林芳由
教職員課長	島田和男	事務局（教育企画総務課課長補佐）	澤谷好太郎
5 議題及び結果			
報告第30号	専決処理の報告（私有自動車の破損に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて）		承認